

ごあいさつ

皆様こんにちは。日頃より大変お世話になり本当に有り難うございます。

7月の都議選では、皆様より、たくさんの激励や力強いご支援をいただき、初当選をさせていただきました。心より厚く御礼申し上げます。私の選挙直後に、衆議院の解散・総選挙があり、加えて都議会第3回定例会がスタートするなど、目の回るような忙しさが続いています。

その中で、皆様よりいただいた誠意と真心に全力でお応えして参りたい、何としても皆様のお役に立たせていただきたい。その思いで全力投球の毎日です。

地元のさまざまな問題の解決に奔走する一方、都議会では総務委員会理事として、青少年問題、防災、治安、選挙管理委員会などの問題に取り組んでいます。

9月には、 都市型水害からの防災対策

10月には、
有害サイトから青少年を
いかに守るか、さらに
鳥インフルエンザなどの
感染症対策について
質問を行いました。



12月に始まる、
第4回定例会では、
党を代表して、一般質問に
立ちます。

神田川・妙正寺川の氾濫から 住民を守れ！

都議会総務委員会で質問 [9月29日]

台風14号による、9月4日の集中豪雨で甚大な被害が発生した、新宿・中野・杉並などの都市型水害について、9月29日都議会総務委員会で取り上げ、住民への避難指示、避難誘導、避難場所の確保などの対応がきわめて不十分だったことを指摘しました。

その上で、今回の教訓を生かして、地域防災計画、防災行動マニュアルなどの見直しを検討すべきだと主張。

都は、区市町村に対し、地域の実情や特性を生かした避難勧告の判断、伝達マニュアルの作成等について要請したと答弁しました。

「人間の安全保障」確立

公明党街頭演説会

公明党は終戦記念日の8月15日、東京・新宿駅西口で街頭演説会を開き、行動する平和主義を掲げ、平和と人道の21世紀を構築するため、全力を尽くしていく決意を表明しました。



浜四津敏子代表代行は、中国と韓国で起きた反日デモに触れ、「双方が非難しあうだけでは溝は埋まらず、未来は開けてこない。日本としても歴史に目を背けない勇気を持ち、過去への反省を忘れない努力を続けていく必要がある。」と述べた。

街頭演説会には、この他、太田昭宏幹事長代行前衆議院議員（衆院選予定候補東京12区）、高木陽介前衆議院議員（衆院選予定候補比例区東京ブロック）山口那津男参議院議員らが出席、司会は私、吉倉が務めました。

インターネット有害サイトから 青少年を守れ

都議会総務委員会で質問
[10月18日]



インターネットの有害情報から青少年を守るため、東京都は接続事業者などに対し、有害なホームページを閲覧できないようにするフィルタリング・ソフトの導入を義務づけた、改正「東京都青少年の健全な育成に関する条例」を10月1日より施行しました。

フィルタリング・ソフトの導入を義務づける青少年条例は全国で初めてで、注目を集めています。

私は、10月18日の都議会総務委員会で、「フィルタリングについてはまだまだ知られていないし利用されていない。」と指摘。条例を実効性あるものにするため、保護者や教師への啓発を図り、子供たちが適正にインターネットを利用できる環境を整備するよう主張。

都側は、条例の確実な施行と実効性の確保に、積極的に取り組んでいく考えを示しました。

新宿大久保まつりで区民の皆様と交流

恒例の第24回「大久保まつり」が10月10日盛大に開催され、音楽隊の創価ルネッサンス・パンガード・ジュニアとともに、大久保通りをパレード。音楽隊が、「21世紀のマーチ」「今日も元気で」などを演奏し、沿道の区民を魅了する中、私は、藤井富雄前都議と共に多くの皆様と友好を深めることができました。



パキスタン地震、被災地に真心の支援を「救援の会」の募金活動に協力

公明党の神崎武法代表と冬柴鉄三幹事長、斉藤鉄夫市民活動委員長（党パキスタン等大地震被害対策本部副本部長）らは、10月13日午後、東京・新宿区のJR新宿駅西口で「東京都パキスタン地震被災者救援の会」（大沢孝明代表）とともに街頭募金活動を行い、被災者への真心の支援を呼びかけました。



それには、私も参加し、行き交う人々に「皆様の善意をお寄せ下さい」と救援を訴えました。「真心を現地に」と真剣な訴えに多くの人が足を止め、「頑張ってください」などと、快く協力いただきました。

「食の安全」確保へ全力 食肉市場でBSE対策調査

BSE（牛海綿状脳症）発生により輸入が禁止されているアメリカとカナダ産牛肉の輸入再開が検討されていることを受け、私は、東京都議会公明党の一員として、11月4日、東京・港区にある都中央卸売市場の食肉市場を訪れ、「食の安全」対策について調査活動を行いました。BSE感染で危険性が指摘される牛の脳、脊髄、目、小腸先端部（特定危険部位）の除去作業などを視察。トレーサビリティ制度（生産流通情報把握システム）に基づく牛の個体識別番号なども確認しました。また、業界団体の責任者と活発に意見交換を行う中で、東京食肉市場協会の寺内正光会長より、市場棟内の仲卸業者施設が老朽化していることに対して、安全安心の食肉を安定的に提供する立場から、早期に衛生対策工事を進めてほしいとの要望が寄せられました。



■トピックス

シルバーパスの負担が拡大しないよう都に強く要請!

都議会公明党は、かねてより住民税非課税者の千円パスが、広く高齢者の皆様の社会参加に効果的であると主張しています。今般、高齢者の課税最低限の引き下げにより、シルバーパスの千円パス利用者の内の多くの方々が住民税課税となり、20,510円パス購入を余儀なくされることとなります。この影響は7万7千人に及ぶと見込まれており、これは絶対に避けなければなりません。私たち都議会公明党は、断じて都内の高齢者の皆様の負担が拡大しないよう、強く都に働きかけをしております。

都営住宅のアスベスト（石綿）調査を行います!

アスベスト被害の事例が明らかにされ、今や重要な社会問題として、アスベストに対する迅速な対策が急務となっております。都議会公明党は第三回定例会代表質問でも取り上げ、教育・住宅・福祉など全ての公共施設等のアスベスト使用状況について、速やかに総点検と実態調査を行うことを要請しています。その結果、平成17年12月上旬より都営住宅を対象として、アスベストが使用されているかを調査実施いたします。詳細は居住者配布用「すまいのひろば」11月号をご覧ください。

住宅の「耐震助成」いよいよ本格検討へ

震災対策について公明党は、「都は助成制度を設け、住宅の耐震化に取り組むべき」と改めて主張。石原知事は、「公共性の高い地域について耐震化助成の検討など都民の負担軽減をはかっていく」と述べ、住宅の耐震化に取り組む姿勢を明らかにしました。内容は以下の通りです。

- 首都直下型地震の地域別の被害状況など 予防・応急対策を見直す
- エレベーター閉じ込め対策など、マグニチュード6程度の対応策を充実
- 地震計の更新などシステムの再整備をすすめる

鳥インフルエンザなどの感染症情報の共有化対策を都議会総務委員会で質問[10月25日]

10月25日の都議会総務委員会で、私は、アジアの大都市が共通する課題に取り組む「アジア大都市ネットワーク21」の共同事業の一つ、アジア感染症対策プロジェクトに言及し、同プロジェクトが来年1月にも稼働させる「感染症情報ネットワークシステム」について、「どこまで途上国に実効性ある予防支援ができるのか」と質問しました。同ネットワークシステムは、現在、猛威をふるっている鳥インフルエンザなどの発生情報について、WHOや国の機関を介さずに、アジアの各都市をダイレクトにつなぎ、迅速に情報交換・意見交換を行うもの。知事本局の長谷川均・国際共同事業担当参事は「発生時の拡大防止だけでなく、早期発見や初期段階の治療方法の確立、公衆衛生の改善のための対策を推進していく」と述べました。

少年サッカー・少年野球チームの皆様へプレゼント!

戸山公園・躍動の広場の人工芝の補修工事が決定。冬休み前に完成します!

都議選の最中、私は戸山公園・躍動の広場の人工芝について、大規模な破損箇所が4カ所もあり、競技中の子供達の安全上問題ありとの声をお聞きいたしました。補修工事を求める関係者の強い要望を受けて、当選後、真っ先にこの問題に取り組みました。緊急対応が必要との申し入れをした結果、年度途中にも関わらず、予算づけを行い、12月の冬休み前までに完成することが決まりました。関係者の方々より高い評価をいただいております。



補修前の人工芝

安全でバリアフリーな街・高田馬場に!

東西線高田馬場駅——待望のエレベーターが完成!

高田馬場駅前広場に待望の東西線エレベーターが完成しました。公明党は、国や都、区が連携して駅周辺のバリアフリー化を進めています。その一環として、地元の皆様と共に、平成14年5月に東西線にぜひエレベーターの設置をしてほしいとの要望を東京メトロに行い、このほど実現いたしました。10月26日より、エレベーター使用が始まり、利用者より大変喜ばれています。今後さらに、安全で快適な街を目指してまいります。

